

# アルツハイマー病に効果ある 「ココナッツオイル」

2014年 1月31日  
文芸春秋2013年5月号  
白澤卓二 順天堂大学教授

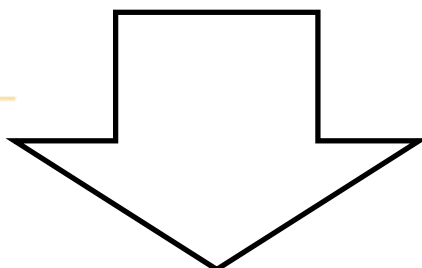
アルツハイマー病で医療機関を受診した人は、平成20年には24万人。  
しかし平成23年には36、6万人と、たった3年で1、5倍に増えている。

治療法がないといわれてきたこの厄介な病気を  
**「脳の糖尿病」**  
だとする研究成果が最近発表された。

脳の糖尿病を予防するには、食事に気をつけることが大切。  
脳にいいものをしっかり食べれば  
アルツハイマー病になりにくい。  
食事を間違えていることによってアルツハイマー病になっている可能性も十分ある。



プレミアム  
ココナッツオイル



## ココナッツオイル

はケトン体を一番多く含み摂取しやすく、  
アルツハイマー病の治療に効果があるという報告がある。



アルツハイマー病じゃないかと、周り人が見ていると疑われるということは、  
すでに脳細胞が破壊されてきているということで、言動がおかしくなって初めて気づきます。  
予防するということは少しでも早くあらかじめ脳細胞の破壊を防いでしまい、  
発症させないようにすれば良いということでしょう。

要するに、「まだブドウ糖の脳への供給が充分に行われている時」に  
あらかじめココナッツオイル(中鎖脂肪酸)で  
**ケトン体を脳細胞に供給できるルートを、身体の中にメカニズムとして作り上げる食生活**  
にしておけば、リスクは極めて低くなるわけです。  
先手必勝ではありませんが、予防は早め早めにとりかかるのがベターです。